

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	Indiana University – Purdue University Indianapolis	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2023年 8月 ~ 2024年 5月	記入年月日	2024年 6月 15日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Sports Management, Sociology, International studies			
科目名	Introduction to Sport Management(TESM-S211)	科目名	Introduction to International Studies (INTL-I100)
授業内容	スポーツマネジメントの基礎について、データや実例を用いて学ぶ。学期の間に6時間以上のボランティアを課される。	授業内容	内容は人口統計や人類学についてがメインで、5冊の参考図書を一冊ずつ読んでそれについて講義で詳細に学んでいく。
授業形式	対面、講義、グループワーク	授業形式	対面、講義、たまにディスカッション
単位数	3	単位数	3
サイズ	約40人	サイズ	約20人
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	普通	宿題の量	少ない
コメント	基本的に教科書に沿って進み、授業中は先生の話を聞いていることがほとんど。グループワークの課題があるときは、授業の最後の方の時間を話し合い時間にしてくれた。受講生はほとんどが1年生。先生の話がとても面白く、聞いているだけであったという間に1時間が経っていた。課題は毎週課され、インタビューやグループ課題、レポートなどタイプは様々だった。	コメント	授業は本を読んでおくことが前提なので、秋学期だけで5冊の本を読んだ。毎週の課題が無いかわりに、一冊終了するごとにその本について学んだことを書くレポート課題が出された。本をしっかり読んで授業内容をある程度理解していればレポートは簡単に書けた。教授が優しく、授業以外の時間も会話してたくさん親切にしてくれた。
科目名	Academic English Reading (ENG-G111)	科目名	Principles of Composition EAP (ENG-G130)
授業内容	テキストや先生が用意したプリントを用いて、長文を読むテクニックを学んだり、あるテーマに沿ってグループプレゼンテーションをしたりする。	授業内容	学期中に3つのプロジェクトが課され、テーマに沿ってエッセイを書いていく。
授業形式	対面、グループワーク、プレゼンテーション	授業形式	対面、講義
単位数	3	単位数	3
サイズ	約20人	サイズ	約20人
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	IUPUIの国際生が受ける英語テストのスコアによって受講が決まる授業。クラスメート全員がInternational Studentsで、とてもアットホームなクラスだった。授業内容は比較的簡単だったが、テーマによっては難しい長文も読んだ。また、プレゼンでは一人当たり15分以上話すことがルールだったので、グループで45分くらい話すことになって準備が大変だった。	コメント	全てのエッセイが個人作業だったが、友人の書いたエッセイを読む機会もあった。毎週課されるdraftの課題に先生が丁寧に添削をして返却してくれるので、どこをどう直せば良いのかが具体的に分かってとても勉強になった。また、引用の仕方やAPAフォーマットについてもかなり詳細に学ぶことができた。

科目名	EAP Grammar (ENG-G114)	科目名	Sports and Society (SOC-R333)
授業内容	オンラインテキストとセットになっているオンライン問題とミニテストを受け、その成果のスクリーンショットを提出する。	授業内容	アメリカにおけるスポーツの歴史と社会問題について学ぶ。毎週アップロードされる講義動画と資料を見た後、ディスカッションポストをやエッセイを書いて提出する。
授業形式	オンライン	授業形式	オンライン
単位数	1	単位数	3
サイズ	不明	サイズ	40人
難易度 Course No.	易しい	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	普通	宿題の量	多い
コメント	Readingのクラスとセットになっているので、テストの結果で受講が決まった。講義は一切なく、オンライン上で課題を毎週提出するのみ。内容がとても簡単なので退屈に感じたが、英文法の復習にはなった。先生に質問しても返事は一度もなく、課題の採点も遅いので不満だった。	コメント	毎週課されるディスカッションポストの課題と、ユニットの終わりにあるレポート課題がとても大変だった。レポートは約3週間に1度1500word以上書く必要がある上に、内容や参考資料の指定が多くあるのでエッセイの構成を考えるとところからかなり時間を使った。課題には必ず先生のコメントがあり、読んでくれていることが分かったので、それがモチベーションになった。
科目名	Social Psychology (SOC-R234)	科目名	Principles of Event Tourism (TESM-E 104)
授業内容	心理学の基本から応用まで幅広く学ぶ。	授業内容	毎週アップロードされる講義動画と資料を見たあと、課題を提出する。
授業形式	対面、グループワーク、ディスカッション	授業形式	オンライン、ディスカッション
単位数	3	単位数	3
サイズ	20	サイズ	35人
難易度 Course No.	やや難しい	難易度 Course No.	普通
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	心理学については前提知識がほとんど無かった上に、英語がかなり専門的だったので難しく感じた。しかし、授業前に必ず講義資料を渡してくれたので、それを使って予習することができた。テストは3回行われ、手書きの紙を数枚持ち込むことができた。授業中はほぼ毎回グループディスカッションがあってハードだったが、クラスメートと仲良くなることができた。	コメント	大規模なイベントを主催する際に必要な知識についてかなり専門的に学ぶことができた。先生の話が面白く、具体的なイベントを例に説明してくれるので、とても分かりやすかった。また、学期中に6時間以上のボランティアが課されるので、自分で探してアポを取り参加する必要がある。
科目名	Reading, Writing, & INQ I EAP (ENG-G 131)	科目名	Studies in Religion
授業内容	秋学期に受講したWritingの発展クラス。全部で3つのプロジェクトがあり、それぞれでエッセイを書いた。	授業内容	文化、宗教、歴史などをテーマに、東洋と西洋の違いについてディスカッションベースで学ぶ。
授業形式	対面、グループワーク	授業形式	対面、ディスカッション
単位数	3	単位数	3
サイズ	23人	サイズ	10人
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	やや多い	宿題の量	少ない
コメント	Internationalの生徒だけでなく、アメリカ人の学部一年生の必修授業でもあったため、ネイティブの学生も何人かいた。秋学期にReadingのクラスを担当していた先生だったため、個人的には2回目でもやりやすかった。2つ目のプロジェクトはグループで一つのエッセイを書くものだったが、仲が良かった友達とグループを組めたので楽しくできた。	コメント	一週間で一つのテーマが扱われ、火曜日が東洋の視点、木曜日が西洋の視点を中心に学んだ。東洋史に詳しい中華系の先生と、西洋史に詳しいアメリカ人の先生の2人が居たので、専門的なことをそれぞれから聞けてようになった。授業中はディスカッションがかなり多く、最初はかなり苦労した。少人数なのでアットホームではあった。

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>一番苦労したことは授業内で行われるディスカッションで、初めは聞き取るのに精一杯で発言がなかなかできなかった。予習段階でディスカッションの内容がわかっていた際は発言することができたが、その場で考える質問はなかなか意見を言えなかった。しかし、学期途中からは仲良くなったクラスメートが私に意見があるか聞いてくれたので、その際に発言することができた。また、ディスカッション中に要点をメモに取って授業後に渡してくれる友人がいて、後で課題や復習をする際にとっても役立った。ディスカッションはとにかく発言さえすれば必ずみんな聞いてくれるので、短い文章でも簡単な単語だけでもいいので恐れず何かいうことが大切だと学んだ。慣れてきた後は以前よりも積極的に参加することができ、日本とアメリカの違いを例に挙げると話が盛り上がり面白かった。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>毎週木曜日の放課後に、Japanese Culture Club (JCC)に参加し、日本語の授業を受講している学生と交流した。活動中は日本語のカードゲームで遊んだり、1ヶ月に1回近くのレストランへ行って晩御飯を食べたりした。他にも大学の学生団体が主催するイベントがたくさん開催されているので、友人を誘って参加していた。特に、学期初めや中間・期末テストの週はイベントがたくさんあった。イベント以外にも、毎日大学近くのジムへ行ったり、週末にルームメイトや友達と遊びに行ったりして過ごしていた。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所 Riverwalk ApartmentにあるInternational-House キャンパスの中心から歩いて10分程</p> <p>設備についての簡単な説明 4人部屋だったが、個人部屋があったのでルームメイトが自分以外に3人いてもそこまで気になることはなく快適だった。個人部屋にはそれぞれベッド一台、デスク、チェスト、クローゼットが備え付けられていた。バスルーム(シャワーとトイレ)は2人で一つを使い、洗濯機、乾燥機、リビング、キッチンが4人で共有していた。リビングにはソファ、テーブル、椅子、棚などがあり、キッチンには冷蔵庫、電子レンジが備え付けてあった。</p> <p>部屋について 4人部屋 広さ 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて Indiana出身のアメリカ人2人(Undergraduate)、レバノン出身1人(Graduate)</p> <p>寝具や生活用品の入手方法 寝具は日本からシーツ、枕カバー、薄手のブランケットを持参した。秋頃肌寒くなったので近くの雑貨店で毛布を購入した。11月頃に日本から船便で送った荷物が届き、冬はその中に入っていたオールシーズン対応の掛け布団を使用した。キッチン用品は基本的にルームメイトが貸してくれたので、それを使わせてもらった。また、春学期に退寮した学生が寄付していった物を使ったり、秋学期が終了した時に帰国する友人に貰ったりした。その他必要なものがあれば、その都度Amazonで購入した。ちなみに、学生向けのAmazon Primeが6ヶ月間無料なので、無料トライアル期間が切れるまで利用していた。そのため、Amazonで何か購入したら基本的に2-3日で届いたので便利だった。</p> <p>生活の感想 入寮してルームメイトが全員揃った日に部屋の大まかなルールを決めたので、1年間特に大きなトラブルは発生することがなかった。掃除やゴミ捨てについても特に当番は決めなかったが、大体の順番でみんなが平等に担当した。また、アメリカ人のルームメイト2人が生活面でかなりサポートしてくれた。彼女らは2週間に1回ほど実家に帰るので、その際に親が作った作り置きのご飯を分けてくれたり、生活必需品を分けてくれたりした。会話以外でのコミュニケーションはWhatsAppのグループチャットを使い、何か質問やお願いをしたらすぐに返信して対応してくれた。小さいトラブルは数回あったが、その都度部屋のルールを変えたり話合ったりして解決できたので、結果的には1年間良好な関係を築けた。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>食事は基本的に自炊をしていた。毎週金曜日は授業がないので、その日にKrogerへ行って買い物をしてきた。Krogerは寮から歩いて30分ほどだったが、大学の敷地内を走るシャトルバスを使用していたのでそこまで大変ではなかった。また、Paw's Pantryという民間のスーパーや学生からの寄附を基に運営されている無料の食品提供サービスがあったので、毎週利用していた。Pantryでは、フルーツやツナ、野菜などの缶詰、スナック、冷凍食品、パスタなどがもらえた。また1ヶ月に一回ほど卵や牛乳ももらえた。</p>

6	<p>医療保険についてお書きください</p> <p>渡航前に加入した保険 津田塾大学指定のOSSMA Plus 海外旅行保険</p> <p>留学先大学にあった医療保険制度 上記の保険に加入していたため、書類を提出して免除してもらった</p> <p>留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください) アメリカ国内で結核の血液検査を受けることが春学期の授業登録の必須条件だったため、Campas Healthを受診した。</p>																																													
7	<p>費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">(現地通貨)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">渡航旅費</td> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: right;">190,000 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">約150000 円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td></td> <td style="text-align: right;">約70,000 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200,000 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td style="text-align: right;">約100ドル</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td style="text-align: right;">約8,450ドル</td> <td style="text-align: right;">約1,267,500 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td style="text-align: right;">約500ドル</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>その他(予防接種)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">130,000 円</td> </tr> <tr> <td>(生活費)</td> <td style="text-align: right;">約2,000ドル</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,007,500 円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">換算率 (1ドル = 150 円)</p> <p>受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください 津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金(給付)</p>	(現地通貨)			渡航旅費		190,000 円	帰国旅費		約150000 円	引越し(往復で)		円	保険		約70,000 円	語学研修費		円	留学先学費		円	本学学費		200,000 円	教材費	約100ドル	円	住居費	約8,450ドル	約1,267,500 円	食費	約500ドル	円	その他(予防接種)		130,000 円	(生活費)	約2,000ドル	円	()		円	合計		2,007,500 円
(現地通貨)																																														
渡航旅費		190,000 円																																												
帰国旅費		約150000 円																																												
引越し(往復で)		円																																												
保険		約70,000 円																																												
語学研修費		円																																												
留学先学費		円																																												
本学学費		200,000 円																																												
教材費	約100ドル	円																																												
住居費	約8,450ドル	約1,267,500 円																																												
食費	約500ドル	円																																												
その他(予防接種)		130,000 円																																												
(生活費)	約2,000ドル	円																																												
()		円																																												
合計		2,007,500 円																																												
8	<p>留学前の準備について教えてください</p> <p>日本から持参すべきもの 洋服(オールシーズン。捨てても良いものを選ぶと帰国の際に捨てて、お土産などにスーツケースのスペースを確保できる)、スニーカーや靴(もしジムに行くのであれば、普段使用のスニーカーの他にもう一足ランニングシューズなどがあると良い)、寮の部屋で履くスリッパやサンダルなどの室内履き、化粧品、コンタクト、掃除道具(入寮時に部屋が汚いので、ある程度掃除できるものがあると良い)、荷物になりすぎない程度の自炊道具&調味料(醤油、めんつゆ、胡麻油などは現地で買うこともできるが、最初に少しだけあるとすぐに買いに行く必要がないので便利)、ルームメイトやお世話になった人に渡せるお土産、日本のお菓子、S字フック、文房具、缶切り、常備薬、体温計、カイロ、マフラーなどの防寒できるもの、 冬服はかなり嵩張るのでスーツケースには入れず、出国前に船便で洋服と掛け布団を送った。国際便で送るよりも時間はかかる(約3ヶ月)が、かなり安く発送できるので到着に時間がかかっても良い冬服などは船便を使うのも良い。</p> <p>留学前にしておけばよかったこと ・英語の勉強(スラングや話し言葉などを少しでも理解していると、会話で困ることが減る) ・洋楽・洋画の知識をつける(好きな音楽や映画の話は会話のきっかけになることが多かったが、自分がそこまで詳しくないので知っておけばよかったと感じる機会が多々あった) ・日本の文化を英語で言えるようにしておく(好きなアニメや漫画があると、話が盛り上がる) ・留学先の国や地域の歴史、文化について簡単に学んでおく</p>																																													

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面に関して、日本の大学とは違って1つの授業が一週間に2回行われる(月水or火木)ので、その授業リズムに慣れるのに時間がかかった。月曜日や火曜日は一日空けてすぐ次の授業があるので、課題や予習を短期間で終わらせる必要があった。初めの頃は教科書の全てのページを読もうとしたり完璧に予習をしようとしていたが不可能だったので、途中からはアップロードされているパワーポイントを理解することに集中したり、教科書を全て読まずにサラッと要点だけ掴んだりする勉強方法に変えた。また、先生の言っていることが理解できなくて授業についていけなくなることもあったが、時間が経って慣れていくに連れて徐々に理解度が高まっていったので、最初のうちはそこまで焦る必要はないと思う。 生活面では、かなりアメリカの生活に適應できていた上に、ルームメイトとの関係も良好だったのでそこまで困ったことは無かった。ただ、日本では実家暮らしだったので、初めのうちは自炊や家事を全てしながらの勉強や生活は少し大変だった。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>以前と比較して、学習面ではかなり効率よく英文を読み進められるようになったと思う。先にも述べたが、授業の課題や予習で指定される教科書のページがかなり多いので、それらをいかに効率よく読んで要点を掴むかに重点を置いていた。また、秋学期も春学期もWritingのクラスで徹底的にエッセイの書き方を学ぶことができた。エッセイと一言に言ってもたくさん種類があり、それらを先生の添削付きで丁寧に学んでいけたことはかなりの成果だと思う。また、読み書きよりも聞いたり話したりする能力の方がかなり伸びたと思う。実際に、アメリカでできた友人と電話したり会話したりすることが簡単にできるようになった。 精神面では、何事もとりあえずやってみようというタフさが身についた。以前なら知らない世界に飛び込んで何かをしようとは思わない性格だったが、アメリカではほぼ毎日が新しい環境での生活や人との出会いだったので、自分で何かに参加したり新しい交友関係を築いたりすることができるようになった。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>以前から海外で働いてみたいという願望はあったが、留学生活を終えてさらにその気持ちが強くなった。今後の予定としては、6月後半くらいからサマーインターンの募集が始まるので、それにエントリーして業界研究をしようと思う。希望する企業は外資系企業や、日本の企業の中でもグローバル展開している企業で、将来的には海外で働いたり英語を使って海外の人と仕事をしてみたい。また、自分は9月に卒業予定なので、就職までの半年間はワーキングホリデーや長期インターンシップなどで有効に時間を使いたいと思う。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>もし金銭面などの経済的な理由以外で留学を悩んでいる人は、絶対に行った方が良いです。自分が留学して分かったことは、自分が想像している以上に留学で得られることが多いということです。英語や現地の言語が上達するだけでなく、実際に生活することで得られることが沢山あります。例えば、アメリカの大学は日本の大学とシステムや先生の授業の仕方、生徒の態度まで全く違います。他にも、食生活や日本人以外の同世代が何を考えて何をしているのかなど、今まで知ることのなかった世界を毎日体験することができます。インターネットを使えばある程度の情報や知識は得られますが、自分が体験することが重要だと思います。また、経済的な理由で悩んでいる人は、学内や民間の奨学金を検討してみてください。実際、知り合いに金銭面で諦めていたけど奨学金をいくつか併用して留学を実現させた人がいるので、その人のようにもしたら想定よりは安くなることもあるかもしれません。また、自分のように交換留学制度を利用すれば、留学先の学費が免除になることもあります。そうすることでかなりハードルが下がると思います。協定校留学を目指している人は学内専攻を通過する必要もありますが、ただ英語のスコアを高くするだけでなく、その大学で何をしたいかを明確にさせることが大切です。自分も出願条件をギリギリ満たすスコアでしたが、面接ではスコアが低い理由ではなく留学をすることで何ができるのか、なぜその大学である必要があるのかを聞かれました。準備や周りへの説得、英語の勉強と色々大変だと思いますが、陰ながら応援しています。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>約1年間の留学を終えて、一番に思ったことは「楽しかった」です。思い返してみれば大変なことも多くありましたが、それ以上に貴重な経験ができました。留学に関して何か聞きたいことがあれば、是非連絡してください。IUPUIのことだけでなく、留学に関する色々な疑問や質問に答えられると思います。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



←International Houseの学生でお揃いのスウェット

↓ダウンタウンへ夜の散歩



↑友達とChicagoへMLB観戦旅行

↓授業前にクラスメートとお喋り



←ルームメイト4人で帰国前にディナー